

# 介護・保育施設の感染症対策研修

## 開催要綱

**趣旨** 感染症対策の基礎的知識を習得し、施設・事業所における感染症発生のメカニズムや、アウトブレイク（感染症の多発）を防止するための対策と発生時の対応を学ぶことを目的に開催します。

新型コロナウイルス感染症の5類移行から時間が経過し、社会的な関心が薄れつつある今だからこそ、改めて利用者の安全を守るための感染症対策の重要性を再認識します。

### <この研修のポイント>

- 感染症対策の基本を再確認し、現場で生かせる実践的な知識が得られます
- 尊厳に配慮しながら、感染症予防を両立させる実践的な工夫を考えます
- 感染症発生時に求められる対応や連携について、施設全体での備え方が学べます

### <こんな方におすすめ>

- 感染症対策について、基礎から改めて確認したい方
- 感染症対策を無理なく継続・習慣化したいと考えている方
- 感染症発生時の対応や、組織としての備えについて理解を深めたい方
- 利用者や子どもの安全と尊厳を守りながら、チームで感染症対策に取り組みたい方

#### 開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

#### 対象

介護職員、保育士、保育教諭、感染症対策責任者等

#### 配信期間

令和8年6月10日（水）～7月31日（金）

#### 研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

#### 申込期間

令和8年4月10日（金）～5月8日（金）

#### 受講可否

令和8年5月15日（金）までにご連絡します。

時間	研修科目	研修内容
約60分	<p><b>講義1</b> 「感染症対策の基礎知識」</p>	<p>抵抗力の弱い高齢者・こどもが集団生活を送る介護・保育施設において、感染症対策は命を守るための最優先課題です。</p> <p>本講義では、施設で発生しやすい感染症の最新経口や、細菌とウイルスの違い、感染成立の3要素といった基礎知識を再確認します。また、世間の関心が薄れつつある今だからこそ、現場の「慣れ」や「油断」が招くリスクについて、改めて考えます。</p>
約60分	<p><b>講義2</b> 「標準予防策とは」</p>	<p>感染症対策の基本は、日常的な「標準予防策（スタンダード・プリコーション）」の徹底にあります。</p> <p>ケアの質を落とさずに感染リスクを遮断するため、手洗い・手指衛生のタイミングや防護服の正しい着脱、環境整備の方法を学びます。</p> <p>知識として知っているだけでなく、組織全体で対策を「習慣化」し、形骸化させないためのポイントを習得します。</p>
約60分	<p><b>講義3</b> 【第1分科会：高齢者施設分野】 「高齢者施設の感染症対策」</p>	<p>感染症発生時の初動から収束までの対応について、ゾーニング等の環境設定やケアの方法、職員体制の構築を学びます。</p> <p>また、新型コロナウイルス対応で浮き彫りになった「医療との連携」「物資の備蓄」「隔離時における利用者の尊厳への配慮」といった課題を整理し、BCPの実効性を高めるためのマネジメント視点についても理解を深めます。</p>
約60分	<p><b>講義3</b> 【第2分科会：保育施設分野】 「保育施設の感染症対策」</p>	<p>多様なウイルスが持ち込まれやすい保育現場において、感染経路に応じた予防策や、食事・排泄など生活場面ごとの具体的な対策を学びます。</p> <p>あわせて、「感染症発生時の保護者との連携・合意形成」の在り方や感染対策を講じながらも、こどもの発達や人権をどう守るかなど、保育の質と安全を両立させるためのチームワークの重要性を考えます。</p>